

## 第2章 埼玉県が考える小中一貫教育

前述のとおり、埼玉県が考える小中一貫教育とは、中学校区内の小・中学校が「目指す児童生徒像」や「重点目標」を設定、共有し、その実現を図るため、9年間を見通したカリキュラムを編成して、それに基づき行う系統的な教育です。

### 埼玉県が考える小中一貫教育のポイント

ポイント

I

小中一貫教育推進のための組織をつくる

ポイント

II

中学校区の目指す児童生徒像、重点目標を設定、共有する

ポイント

III

教員の意識をつなぐ

ポイント

IV

児童生徒の心をつなぐ

ポイント

V

9年間を見通したカリキュラムを編成する

ポイント

VI

家庭・地域との連携を深める

埼玉県が考える小中一貫教育を進めるにあたっては、市町村教育委員会の明確な方針のもとで、各学校が主体的に取り組むことを理想としています。上記の6つのポイントをはじめから順番に進めるのではなく、学校、市町村教育委員会が現在の小中連携の状況と学校・地域などの声に応じて、できるところから一つずつ進めていくことが大切です。

これまでに小中連携、小中一貫教育を実践している学校も、  
 これからの学校も、こんな声からはじめてみませんか

【校長・教員の声（例）】



校長

どのように  
 小中一貫教育を  
 進めたら…

学校が主体となって  
 小中一貫教育の推進組織を  
 つくりましょう

ポイント  
**I**  
 P.14



教員

小中連携から  
 一步進んだ  
 取組を…

中学校区の目指す  
 児童生徒像や重点目標を  
 設定してみましょう

ポイント  
**II**  
 P.21

小学校と中学校の  
 指導の違いが…

教員の連携を強化する  
 取組を進めてみましょう

ポイント  
**III**  
 P.24



教員

教科の学習指導の  
 改善が…

効果的な児童生徒の  
 交流活動を計画して  
 みましょう

ポイント  
**IV**  
 P.26

【家庭・地域の声（例）】



来年入学する  
 中学校での勉強や  
 友達への不安が…

9年間を見通した  
 カリキュラムを  
 編成してみましょう

ポイント  
**V**  
 P.30



子供がもうすぐ  
 中学生になるけど、  
 接し方が…

家庭・地域との連携を  
 深めていきましょう

ポイント  
**VI**  
 P.36

